

事業名：コラボヘルスで推進するセルフメディケーション推進事業（幹事健保：三菱商事健康保険組合）

1. 事業概要

【事業の目的】

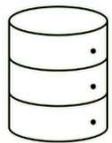
以下の3つを目的として、事業主・複数健康保険組合と連携したセルフメディケーション保健事業のモデル創出を目指す。

- ① 医療機関への対面受診のみに依存しない「セルフメディケーション」を、データ分析に基づいた啓発活動や、薬剤師の介入プログラムにより普及し、加入者の健康の維持増進と医療費の適正化を実現する保健事業を作る
- ② 本事業では、セルフメディケーションの推進が事業主にとって健康経営・従業員の生産性向上につながる取り組みであることを踏まえ、事業主と関係の深い病欠や病気休業といった成果指標（アブセンティズム）の共有を図ることで、事業主を巻き込んだコラボヘルス推進のモデルを作る
- ③ 複数の健康保険組合による複数年度にわたる共同事業とすることで、介入効果を高めるデータ分析、広報物作成、事業主とのコラボヘルスの好事例共有を共同で実施、本事業の成果を最大化する

2. 事業内容

事前データ分析

共同データベース



- 対象者特定ロジック
- 処方パターン分析
- 対象疾患医療費
- 平日通院回数

セルフメディケーション保健事業実施

① レセプトデータに基づいた個別勧奨

- 疾患対象者に通知書送付
- インセンティブ付与によるOTC医薬品の購入補助、購入サイトの提供

② 事業主とコラボした啓発活動

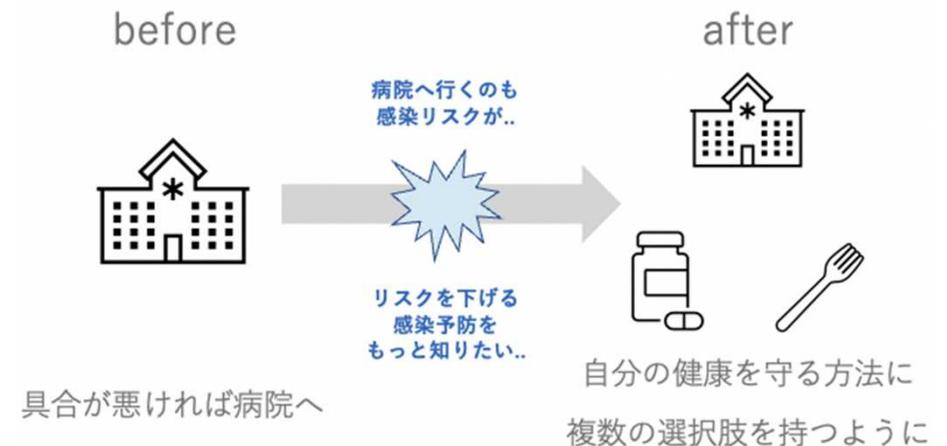
- 事業所向け「セルメレポート」作成
- 健康経営のKPIと連携
- 事業所/社内診療所を巻き込んだ施策

③ 薬剤師の介入プログラム

- 希望者を対象にした薬剤師面談
- 服薬歴を元にした市販薬活用の助言等

【参考：事業の背景】

COVID-19による影響で、各個人におけるセルフメディケーションの重大性の認知は一層高まっている。



事業名：コラボヘルスで推進するセルフメディケーション推進事業（幹事健保：三菱商事健康保険組合）

3. 成果指標

成果指標① 医療費適正化効果

レセデータ・OTC医薬品の購買データを利用して、取組前後の通院患者減少数を算出

成果指標② 行動変容人数

プログラム参加者の介入プログラム前後の医療費、通院状況を非介入群と比較

参考指標 生産性指標

対象疾患の平日通院数からアプセンティズムを試算し、事業による改善効果を算出

定性調査 医療安全の検証

アンケート、薬剤師によるOTC医薬品使用後のフォローにより、OTC医薬品への切り替えによる影響有無を把握

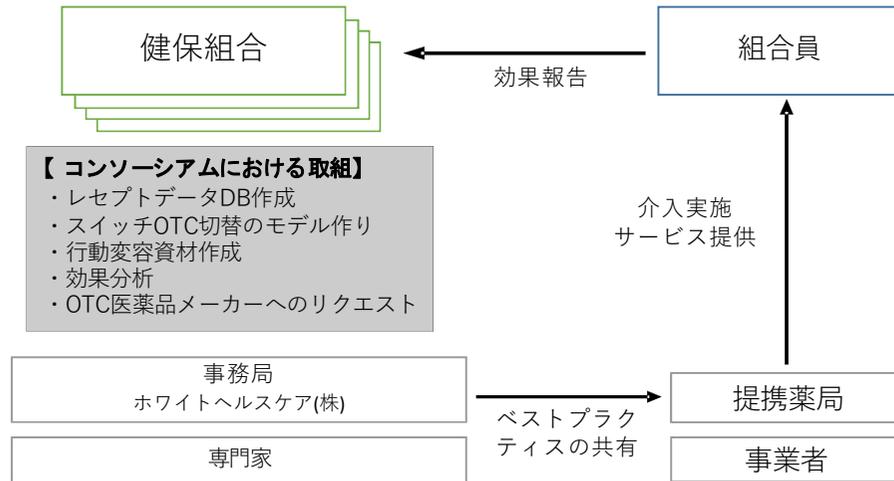
+

⇒ レセプトデータ等からセルフメディケーションの普及によるアウトカムを計測する

⇒ 定性評価により、セルフメディケーション普及によるデメリットを捕捉

4. 実施体制

共同事業コンソーシアム



【コンソーシアムにおける取組】

- ・レセプトデータDB作成
- ・スイッチOTC切替のモデル作り
- ・行動変容資材作成
- ・効果分析
- ・OTC医薬品メーカーへのリクエスト

【参加健康保険組合】
三菱商事健康保険組合他 合計5健保・加入者総数約6万人

【参考：前年度事業におけるアンケート結果】

前年度事業においては、薬剤師への相談窓口設置等でフォローアップを行った結果、セルフメディケーションの実践を推奨したことによる、体調への悪影響は確認されなかった。

